

令和5年度 草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）達成状況

草津市の実行計画では、エネルギー起源のCO₂排出量について、平成25（2013）年度を基準とし、令和12（2030）年度に、50%以上削減することを目標としています。

令和5年度は基準年度と比較してCO₂排出量を23.4%削減することができました。

CO₂排出量のうち、最も大きな排出源となっているエネルギーの種類は電気と都市ガスであり、全体の94.8%を占めております。電気は、主に各施設の照明・空調等に使用されており、都市ガスは、主に庁内や小中学校、まちづくりセンター等で冷暖房の一部や給湯器、調理室で使用されています。

表 令和5年度 全体のCO₂排出量とエネルギー毎の内訳

エネルギーの種類		CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)		R5構成比
		R5	R4	
エネルギー起源CO ₂		11,267	10,356	100%
施設	電気	8,595	7,365	76%
	都市ガス	2,087	2,237	19%
	LPガス	90	230	1%
	灯油	350	376	3%
	軽油・BDF	16	16	0%
	ガソリン	9	10	0%
	重油	7	13	0%
公用車	電気	0	0	0%
	都市ガス	0	0	0%
	軽油・BDF	10	8	0%
	ガソリン	103	102	1%

<主な増加要因について>

- ・CO₂排出量の算出に用いる電気の排出係数が昨年よりも高い値となったため増加しました。

<主な減少要因について>

- ・道路照明灯をLED化したため一部CO₂排出量が減少しました。

(t-CO2) 目標年度までのCO2排出量推移 (R3より集計開始)

